



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 955 回(7 月 9 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 S A A 小島君、小室君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	26 名	76.47%	88.24%

会長の時間

栗原(憲)会長



皆さんこんにちは、今日は新しく会員になられ方が増えましたので、ロータリーの誕生と概略をお話しさせていただきます。

「ロータリーの誕生とその成長」

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人 3 人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。こうして 1905 年 2 月 23 日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を越え、今では 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 34,297、会員総数 1,211,868 人(2013 年 2 月 28 日 RI 公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するに

つれて、ロータリーは世界に目を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。以上、ロータリーについて概略を読ませて頂きました。

幹事報告

宮野幹事

1. 中井ガバナーより、今年度地区運営について
2. 13~14 年度ガバナーノミニー公表について
3. 高松南 RC より例会参加依頼について
4. 米山記念奨学会、普通寄付金納入について
5. 役員理事のお知らせ 新狭山 RC
6. 例会場名変更について 新所沢 RC
7. 入間基地納涼祭について
8. 例会変更 飯能 RC 所沢西 RC
9. 受贈会報 所沢 RC 飯能 RC 入間 RC 新狭山 RC

「会員卓話」・・・・・・・・

「モンゴル植樹について」 柴田会員)

この報告と合わせて、モンゴルのマッチング・グラント、この承認が事実上下りております。私どもの方にメールではまだ来ておらず、後一週間位は掛かるのではないかとということが、日本支局の伊関さんの報告でございます。10,699 ドルの認定になっておりまして、本当に良かったと思っております。



昨日まで稲見さんと、もし駄目だった場合、我々はどうしたらいいのだと心配しておりましたが、今朝伊関さんに連絡をしたところ、データベースではきちんと認定されているので安心して下さいということと、そして本部は夏休みに入ってしまう

っていて遅いのかも知れないので、もう少し待っていて下さいということを言われました。本当にありがとうございました。

もう一つ申し上げるならば、中谷会員が前年度の会員増強で、6名の増加をみる事が出来たときに、「為せば成る」とおっしゃっておられました。上杉鷹山の言葉を借りて引用されておりましたが、まさにこのマッチング・グラントでもこうした感じを私は垣間見ました。稲見会員がギリギリのところまで頑張ってくれたのですが、その際に、「100万ドルもお金を貰うのに、簡単にはとれないよ。苦勞しなきゃ。」と言っていたのを記憶しております。本当にそういう意味で、関係者が苦勞して頑張ってきたということ、本当に喜びたいと思います。

後ほどの話にも出るかも知れませんが、お話をさせて頂きますと、今回行って本当に良かったと思うのは、フレロータリークラブの関係者と日本語で話すことができるようになったということ、これが最大の成果です。なぜならマッチング・グラントが出来た後は、3年間継続となるわけです。その際にメールのやり取り等を英語で行わなければならないこと、嫌だと思っておりましたら、前幹事だったナラさんという女性に、今回私が担当となりますと言って頂き、7年日本にいたそうで、私どもが話すことについては逐一受け止めて、現在の会長である方に報告しておられたことが印象に残っています。

モンゴルに行った6月12日にはまだ、マッチング・グラントが認証されるかどうかということがまだわかっていない段階でした。そのため私どものクラブの単独事業が2年目を迎えたという位置付けをせざるを得ず、皆さんに毎年貯めて頂いているところから25万円の軍資金を頂きまして、今回のフレロータリークラブ及び、実際に実務を司るフォレスターNGOにそのお金を渡す作業に入ってきたわけです。またマッチング・グラントについて、事前に申請書のコピーを彼らに送っておりましたが、それがお会いする時に非常に役立ちました。

経過と致しましては、6月12日の12時頃成田に着き、その日は朝からモンゴルが強い風で、飛行機が飛んでおらず、約9時間待たされ、フライトしたのが21時を回った頃でした。そして一応モンゴル行きの飛行機の中に入りましたが、そこでも1時間程待たされ、非常に嫌な気分になっておりました。着いたのは日本時間で2時30分、モンゴル時間でいうと1時30分です。通訳の方が出迎えてくれまして、前年度皆さんと一緒にいったホテルへ3時少し前に着き、そのまま就寝致しました。翌日13日、フォレスターNGOにホテルへ来て頂き、13日の予定を良く説明し、そして皆で現地、モンゴル大学へ足を運びました。約1時間半かけて現地に着き、1時間程度滞在してまた戻り、簡単な会食をして別れました。そして14日は夕方、

フレロータリークラブとNGO、そして我々、また後からジグジッドさんにも来て頂くことができ、4者での話し合いができました。これがメインです。

植樹費用の25万円を渡す時も、まずフレロータリークラブに渡して、フレロータリークラブからNGOへ渡すという流れを作って頂きました。13日の話に戻りますが、13日は300本植えて頂くために、事前に連絡しておりましたので、290本は既に植えて頂いており、10本を私どもで植えたという状況です。また前年度植えたものは、ご記憶が正しければ良いのですが、私どもが植えた場所の背面の大きな敷地に移って育成させて頂いております。いくつかの写真を撮っていましたので、ご覧頂きたいと思います。

フォレスターNGOさんも、農業大学の先生も、しっかりと踏まえて、私どもに対して説明をして下さいました。今回のマッチング・グラントの申請時、そして申請後もそうですが、なるべく現地の技術者にやって頂いた方が良いという支局からのアドバイスもありましたために、農業大学の先生が今後も事実上、継続してこの事業の成功に向けて、技術や色々な面で御厄介頂くことに合意頂いております。そのため私どもから技術者を派遣して...ということについては、費用負担から外しております。初めは約17,000ドル数だったのですが、それを蹴ったために若干下がったということをご承知おき下さい。

・今回撮ってきた写真を見ながらのご説明・
・前回植樹した375本のうち300本が育成されているという報告です。

ジグジットさんのお話をしますと、今は鉱物資源省事務次官になっておられました。私どもが昨年7月に行った時点では、これもまだわかっておらず、その後半月ほどして決まったそうで、彼の友人が鉱物資源大臣になり、若い頃から繋がりがあった彼に「助けてくれ」と言われたことで、財務省から離れたそうです。今色々な所からのオフィスを整理しながら、少しでも国のためにと頑張っているようです。毎日のように11時頃まで、会議に追われているそうです。

稲見会員)

初年度行ったときに、空港からホテルまで本当に変な道だと思っておりましたが、その道はそのままになっていました。植樹よりむしろ、空港から市街地まで弾丸道路でも通じた方が、よっぽど良いのではないかと思います。ましてや今年の3月には安倍首相も、8年ほど前には小泉首相も、日本墓地に行っております。あのように行くのであれば、昨年行ったときには橋をODAで作っているという話がありましたが、むしろ橋はお金がかかりますので、道路を通じた方が良いのではないかと思います。

マッチング・グラントについて、私は途中から

入っていき、何が何だかわかりませんでした。当初 18,000 ドル、20,000 ドルを少し欠ける申請でしたが、それが最終的には 10,699 ドルとなりました。何故かと言うととにかく財団といいますが、それは全然協力的ではありません。正解があっても正解を言わない、その都度、私たち自身が考えることだと言いき、そして駄目ならば突き返され、万回直したかと言いますと計り知れないくらい直され、最終的に今日が最後だという時に向こうから大体回答を渡され、それに沿ってこちらでも直し、了解してもらったという感じです。

何が減ったかと言いますと、吉松さんが 3 年間技術者として行く旅費、ちょうど約 8,000 ドル位を減らしていきました。

財団の・・・露木から、事業費が 10,000 ドル少々なのに、旅費だけで 8,000 ドルは多すぎるという注意がきまして、仕方がないので、吉松さんの渡航費用を省いてしまおうと、急遽削りました。8,000 ドルちょっとふいにしてしまったという感じなのですが、本来は最初から植樹の方へ 20,000 ドルなら 20,000 ドルを要求していれば、通ったということだと思えます。もう一点は、フレロータリークラブは非常にマッチングに詳しく、ナラさんという方は木更津で、下水の浄化装置をモンゴルに持ってきて、それを 30,000 ドルで行っており、我々のマッチングは小さいとおっしゃっていました。それを聞き、もう少し大きな事業としてやっていたら良かったと思えました。

そして行って思いましたのは、とにかくフレロータリークラブに 2 度の視察をして頂かなければならない、現地を年に 2 度、そして中間報告をして、最終報告になるわけですが、これも皆英語で返さなくてはいけないものですから、当初フレロータリークラブが作成して、それを最終的に柴田さんが報告という形になっております。そのため、フレロータリークラブとの協議というのが非常に重要になります。まず、お金の入金があり、それをそのももフレ RC に送金して、それを NGO に渡し、管理するのがフレ RC で、それを尚且つ管理するのが当クラブということになります。

申請は受理してもらいましたが、この後のレポートが非常に難しくなります。

やはり財団のお金なので、公金みたいなものなのでかなり申請が難しくなると言うことでした。フレロータリーのナラさんが、しっかり私の方でレポート致しますので、それを持ち帰って最終報告して下さいという指示を頂きました。

最終報告につきましては、鈴木ガバナーと松本地区財団委員長の承認を得て、柴田さんがおこなうということになっております。



吉松(会員)

モンゴルの話は、先ほど見て頂いた通り、全然変わっておりません。何十年とかかるようです。要するに、我々モンゴルに植樹をする理由は、草原が砂で荒らされている現状を食い止めるということが狙いですが、昨年と今年はほとんど変わらなく 370 本のうち 70 本は駄目になってしまったようですが、それでも 300 本は残ったということで大した効果だと思えます。

大きくなって背丈ほどにしかない木で、薬木、薬草になるそうです。10 年後に行かれた方は、変わったと思うかと思えます。

今モンゴルはマンションブームで、日本で 4,000 万円位のものが、10 分の 1 モンゴルでは 400 万円位で買えるようです。昔は公団型と言っておりましたが、2LDK の 57 ㎡くらいの部屋が基本だそうです。70 ㎡以上は、上の階級の人となるそうです。まだそこまでではありませんでしたが、バブルのようになってくるのではと感じて帰ってきました。昨年建て替えていた 10 数階のマンションは、そのまま完成せず残ってありました。そうした状況もちらちらと見てきました。インフラはまだ出来上がっておりません。

日本とモンゴルの降雨量は、日本の 1 日分がモンゴルの 1 年分だと言っておりました。200 ~ 300mm がモンゴルに降る雨ということになり、川も何も干上がっております。たまたま降る雨で草原が成り立っており、昨年行きましたときに、ここにサツマ等を植えたら収穫できるのではと思いましたが、冷凍になってしまうようです。

これからが大変です。先ほど説明がありましたように、ナラさんという女性が大変素晴らしい方で、全て私の方で行うから大丈夫だと言っておりましたが、やはりお金の出し入れは大切だと思えますので、これを柴田さんに是非とも管理して頂き、恐らく会計監査がうるさいのだと思えますが、逐次報告をお願いし、完璧にして頂きたいということが私の意見でございます。今後とも宜しくお願い致します。

栗原(成)会員

実際に 10,690 ドルがいつ頃入金されるか、まだ全然わかっておりませんが、そのお金は一時的にこちらで管理し、来年の春先にも、モンゴルの方に 3 年に渡って使って下さいということで、一括で渡すということになるそうです。

今年は 6 月の半ば頃行かれましたが、来年は 5 月の方が良いのでしょうか？色々スケジュールをみまして、今年度会長の栗原さんの仕事のことも考えますと、やはり 5 月とは、お茶屋さんにとっては、1 年を 1 回で乗り切る時期なので、大変かと思えます。行けたとしても、早くも 6 月の初め頃になるのでしょうか？来年は私も行きますので、是非栗原コンビで宜しくお願い致します。

機会均等で皆さんに少しずつ、3年に渡って、3年の内には1回モンゴルに行ってみたらいかかと思っております。そしてもう一つ、昨年も今年も、少し旅費が高いかと感じております。もう少しリーズナブルに、出張ができれば良いと考えておまして、その件に関しましては過去の経験を踏まえて、柴田さん達と協議をしたいと思っております。

そして実際に植えている木が、薬木等と言われておりますが、もう少し学術的に、その薬木はどのように薬にして、どのような効果があるのかということ調べる必要があるかと思っております。白樺等ですとシロップや薪等すぐにわかりますが、薬木と言いますと、胃や肝臓等、色々違うと思いますので、もし薬ができているのであれば先生に試して頂く等、方法を考えたいと思います。また冬は寒く突風も吹くでしょうから、しっかりとしたナンバープレート等をこちらで事前に作ると、記録が残るかもしれません。恐らくそうした費用も出るかと思っております。こうしたことも含めて、少しずつ準備をしながら、せっかく財団からお金がでるわけですので、有意義に使って行きたいと思っております。

来年は必ず私は行きますので、皆さんもそうした気持ちでいて頂ければ有り難いと思っております。今回行かれた4名の方、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

ニコニコボックス

栗原(憲)君 柴田パスト会長、稲見会長エレクト、吉松パスと会長、栗原パスト会長、モンゴルの卓話よろしくお願い致します。

稲見君 モンゴル・フレロータリークラブとのマッチング・グラントの補助金が認められました。万歳！

柴田君 モンゴルの植樹事業「マッチング・グラント」申請が承認されましたこと、会員の皆様と喜び合いたいと思います。

田中(隆)君 入会して間もないのに、今月から3ヶ月欠席致します。理由は半年前に契約した地球一周クルーズに行つて来ます。10月末に元気で戻つて来ます。皆さん忘れないで下さい。



次の例会

第2副SAA 松浦君 宮岡君

7月19日(金) 12:30~13:30

国際ロータリー第2570地区 中井ガバナー公式訪問